

平成18年度夏合宿全体テーマ

スローガン

「あ」・・・ アンテナ張って、あわてずに、
「つ」・・・ 強い気持で、あきらめず、
「ぎ」・・・ 技術をみがいて ステップアップ

全員の課題

要求の声、指示の声

「声」での主張はコミュニケーションの基本

変化の工夫

「メリハリ」でゲーム(局面)は動く

夏合宿においては、1学期の練習や試合での課題を踏まえ、夏休み以降の各学年及び一人ひとりの目標を明確にし、サッカーのレベル向上に努めるとともに、団体生活を通じて子供たちの社会性と学年を越えたクラブとしての一体感を育てることをねらいとしており、毎年、以下の4項目を目標に活動してきています。

暑さに負けない体力と気力づくり

しっかりとしたチームワーク作り

基礎的な技術の体得

的確な判断力の養成

昨年までの「首振り」「声出し」「動き出し」「変化をつけて」「ゴールをゲット」の延長上として、とりわけ、本年度は、スローガンの「あ」「つ」「ぎ」の3つの視点での指導を徹底するようお願いいたします。特に、具体的な指導の場面では、全員の課題として記した2つの事柄の実行を絶えず求めるようにしてください。

「あ」・・・ アンテナ張って、あわてずに

オフ・ザ・ボールの時に、意識的な首振りにより、周囲を見て状況判断のための情報を得ておくことは、オン・ザ・ボールの際に最適なプレーをする上で必須のことです。また、そこでの判断に基づき、自らの「動き出し」をしたり、「要求の声」や「指示の声」を出して、味方とのコミュニケーションを図ることで、単なるボールの蹴り合いからサッカーらしいサッカー、つまり「考えるサッカー」につながるものです。

「つ」・・・ 強い気持で、あきらめず

1対1でのボールの奪い合い・攻防・駆け引きなど、一人ひとりの頑張りの結果によって、チームとしてのボール支配をすることからゲームが展開します。「取られたら取り返す」、「苦しい時こそもう一踏ん張り」、「あきらめたら負け」という勝負の基本を忘れないようにしましょう。

「ぎ」・・・ 技術をみがいて ステップアップ

1対1はもちろん、複数対複数での様々な局面を想定した時、「チェックの動き」「フェイント」「第3の動き」など「メリハリ」のある動きをすることで、スペースを生み出したり、相手を混乱させるなど、「スピードの変化」、「方向の変化」をつけることは局面打開のための個人戦術・グループ戦術としてとても重要です。個人のボール扱いに対する技術をみがくことはもちろん、このような「動きの技術」も身につけてステップアップしましょう。